

平成27年8月5日

関係各位

一般社団法人海洋産業研究会会長 佃 和 夫

同「洋上風力発電等の漁業協調の在り方に関する
提言研究」委員会委員長 松 山 優 治

「洋上風力発電等の漁業協調の在り方に関する提言」
《第2版》送付のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より、海洋産業研究会の諸事業活動につきまして、格段のご指導とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当会では、平成24年度より自主調査研究事業として「洋上風力発電等の漁業協調の在り方に関する提言研究」に取り組んでおり、平成25年5月に「洋上風力発電等の漁業協調の在り方に関する提言ー着床式100MW 仮想ウィンドファームにおける漁業協調メニュー案ー」を取りまとめで、発表いたしました。

本研究ならびに同提言の発表により、関係府省、漁業関係団体、地方自治体等の間で、さらには洋上風力発電事業者の間におきましても、『漁業協調』という基本的考え方が広く浸透、普及してきたものと言えましょう。

当会では、その後、引き続いて検討を進め、上記提言の一部改訂を行うとともに、新たに、浮体式洋上ウィンドファームに関する漁業協調メニューを加え、標記の提言《第2版》を取りまとめました。去る6月9日に当会主催の第401回海洋産業定例研究会の場で公式発表をいたしましたので、ここにその内容を小冊子として刊行いたしましたので、関係各位に送付の上、寄贈申し上げます。

今後、洋上風力発電を含めた海洋エネルギー利用はますますその重要性を増すものと考えられますが、漁業との協調なくして事業の推進はありえないと言っても過言ではないでしょう。地方自治体、漁業関係機関、洋上風力発電事業に取り組む産業界等における漁業協調や海域総合利用ならびに地域における合意形成等に関し、当会として、積極的にご協力を申し上げる所存ですので、遠慮なくお申し越しいただければと存じます。

本提言《第2版》が、洋上における発電事業の円滑な推進と実現にむけた一助となれば、誠に幸いです。
敬具

<本件に関する連絡先>

一般社団法人 海洋産業研究会・事務局（担当：塩原・中原）

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-19-4 難波ビル 7F

TEL : 03-3581-8777、FAX : 03-3581-8787、E-mail address:rioe@rioe.or.jp